



この情報が出たら、すぐ動いて！

「気象防災速報」

災害発生の危険度が高まっている状況で、警戒感を一段高めて速やかな防災対応や行動の判断を後押しする情報です。



この情報が発表されたら、キキクルなどの他の防災気象情報や、自治体が発令する避難情報にも留意し、身の安全を確保してください。

【一例】

- ◎気象防災速報（線状降水帯発生）
- ◎気象防災速報（記録的短時間大雨）



備えは「早め」が安心！

「気象解説情報」

現在の気象状況と今後の見込みを伝え、災害への備えや今後の行動の検討や判断を後押しする情報です。



【一例】

- ◎気象解説情報（台風第〇号）
- ◎気象解説情報（線状降水帯半日前予測）



各市町村からの情報もチェック！

リンク先からそれぞれの気象台の紹介ページに移動すると、各自治体のページへのリンクをご参照いただけます。



各携帯電話事業者の緊急速報メールサービスを活用して災害・避難情報を配信している自治体もあります。

Q.今どのくらい危険なの？

A.雨による災害の危険度をリアルタイム表示する『キキクル』を活用しよう。



キキクルは、大雨などによる災害の危険度を、色分けされた地図で確認できるツールです。

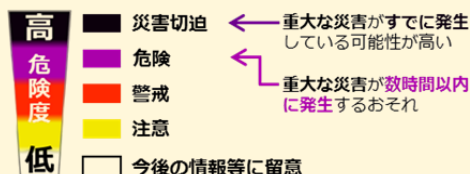


キキクル 検索

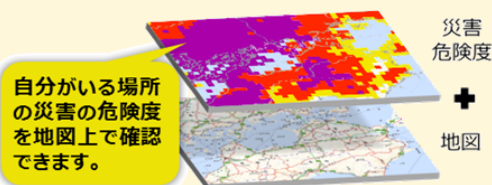


キキクル の主な特徴

危険度を5段階に色分け



地図上にほぼリアルタイム表示



警戒レベル4相当の「危険」（紫）などへの危険度の高まりを通知してくれるサービスを行っている事業者もあります。



キキクル通知サービス

（※一部事業者では、警報や特別警報の通知も提供しています）

「防災気象情報」に関する大切なお知らせ

この雨、大丈夫？

5色のサインで「逃げどき」がわかる防災ガイド



気象庁
Japan Meteorological Agency

〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9 電話：03-6758-3900
FAX：03-3434-9086（耳の不自由な方向け）

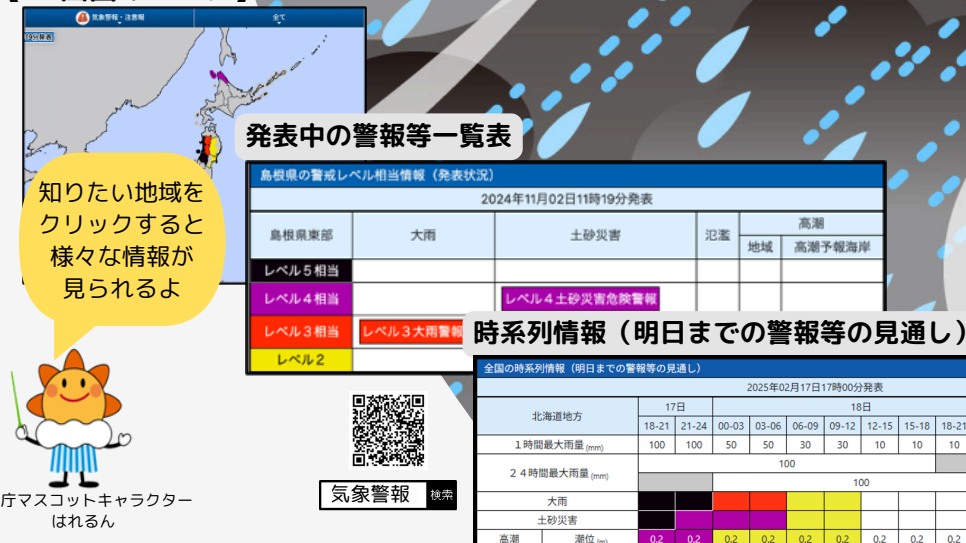
スマホやPCで確認！ 防災気象情報のチェック方法

気象庁では、大雨などの災害リスクが高まるときに、「警報」などの防災気象情報を発信しています。気象庁ホームページでは、これらの避難の判断に役立つ情報を自ら確認することができます。

主な情報の種類

- ◎気象警報・注意報（大雨・土砂災害・氾濫・高潮など）
- ◎時系列情報（明日までの警報等の見通し）
- ◎早期注意情報 → 災害の兆しを早めにお知らせ
- ◎キキクル → ※裏面参照など

【PC画面イメージ】



情報が出たら、どう動く？

～色とレベルでわかる「避難のタイミング」～

図は、災害が発生するまでに出来る「防災気象情報」と行動の例の関係を時間の流れに沿ってイメージに沿って表したものです。災害の危険が高まると、レベル1～5の情報が順次発表され、各レベルに応じて、とるべき行動も変わります。

避難するタイミングは「レベル3」と「レベル4」

「レベル3」は高齢者など避難に時間がかかる人は避難を。
「レベル4」は全員が避難するタイミングです。
「レベル5」はすでに命の危険が迫っている状態です。

キキクルなどで情報をチェックし、早めの行動を心掛けてください。

数日～1日前
半日～数時間前
数時間～3時間前
2時間～0時間前
災害発生

レベル1早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難

レベル4 危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する